

2014-15 ROTARY INTERNATIONAL District 2710

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

FUKUYAMA SOUTH ROTARY CLUB



Vol.

9

2015年 3月号



2014-15年度
国際ロータリー第2710地区 ガバナー

金子 克也

GOVERNOR: Kaneko Katsuya

クラーク博士の言葉 「BOYS, BE AMBITIOUS」について

『BOYS, BE AMBITIOUS』は、札幌大学構内に立つW・S・クラーク博士の胸像の台座に刻まれています。クラーク博士は、札幌農学校副校長に赴任、僅か8ヶ月、札幌を去る際、この言葉を残して、騎上の人となりました。ガバナー月信8月号vol.2で紹介した、福山南RCの奉仕事業参加者に配った銅の銘板には、『少年よ、大志を抱け』に続いて、『それは金銭や我欲のためでなく、また人呼んで名声という空しいもののためであってはならない』と英語で書かれおり、私は、クラーク博士の学生への愛情を感じ、あらためて感動しましたが、『それは金銭や我欲……あってはならない』という文言に違和感を感じ、文献を漁りました。

クラーク博士は、正当な労働と努力によって得られる金銭と名声は、神が本人の能力を認めた賜物だとするピューリタンの子孫でした。また、クラーク博士の言行は、1、開校式挨拶の中で、努力による立身出世と高い報酬獲得を認め、勧めて、2、実習作業に賃金を支払い、労働の対価が報酬という観念を学生に教え、3、学科で優秀な生徒に賞金与える制度採用し、4、「人造りに必要な校則は“Be gentleman! の一語に尽きる”」とも述

べています。

以上の事柄から、金銭、名声に対する先の表現は、クラーク博士の思想とは大いに異なっていることが分かりました。

『BOYS, BE AMBITIOUS』の後は、“like this old man”の語のみだったとの一期生の言は有力です。これ以下の長文は他人の推測文と考えられます。人格形成と、高い知識、技術の習得の必要性を熟知していたクラーク博士は、少年達にも自分と同様に、“Ambitious 広大な裾野を持った大志を持って”、と励ましたのではないかと考えられます。一方、“like this old man”を削ぎ落とした『BBA』は、一段と力強い言葉となり、学内に広まり、札幌農学校の好評、各界での卒業生の活躍に加え、日本社会に溢れていた大志や野心とかを受け入れやすい気風と相まって、日本人の心に強い感銘を与え、急速に国内に広まったものと推定されます。

札幌農学校におけるクラーク博士と若者達との出会いの話は、古い世代から見ると今なお十分に魅力的です。今更ながら、“昔を今に”の思いに駆られます。長い歴史の中で、忘れられていく物の中にある輝きを、現代に活かす具体策はないものだろうか？ 多くのの中には、これをノスタルジアに留めることなく、新たな模索を続けておられる方もきっとおられるでしょう。特にインターアクター、ローターアクターなど、これから未知と遭遇する若い人達には、日本が近代国家へと歩み始めた頃、北の地札幌で巡り会ったクラーク博士と若者達の進取の気風を、新鮮な感覚で味わい、今後の成長の糧にして欲しいと思います。

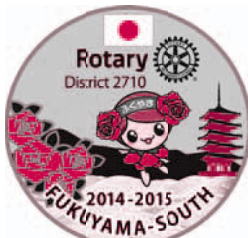
参考文献1、「北大歴史散歩」 岩沢健蔵

参考文献2、“Boys, be ambitious” 考究 安部明廣

参考文献3、「アーサー・F. シェルドンとウィリアム・S. クラーク」

2510地区PDG 塚原房樹

注:『BBA』は、『BOYS, BE AMBITIOUS』の略



CONTENTS

ガバナーメッセージ	1	2017-18年度ガバナー予定者決定のお知らせ	6
2015年国際協議会へ参加して	2	ハイライトよねやまの紹介	6
G3 IM報告	3	会員増減・出席率	7
G4 IM報告	3	新入会員紹介・物故者への哀悼	8
IA日韓親善歓迎式報告	4	文庫通信	8
2014-15年度 第1回東日本復興支援委員会報告	5	訂正とお詫び	8

[ガバナー月信3月号]



2015年国際協議会へ参加して

2014-15年度 国際ロータリー第2710地区 ガバナーエレクト **東 良輝**

昨年9月、12月と東京で開催された2回のGETS（ガバナーエレクト研修会）による研修を終えていよいよ2015年1月にサンディエゴにおける国際協議会に向けて、日本から34人のガバナーエレクトとその配偶者約70名が成田、羽田に分かれて出発しました。私は成田から18日11時15分発のサンディエゴ直通の日航機で出発しました。約10時間の飛行ですが、日付変更線を通るためやはり18日10時サンディエゴ空港に到着しました。アメリカではテロ対策のため税関で厳しいチェックを受け、無事、空港口ビレーに辿りつきました。少し、疲れていましたが、ロビーでは地元ロータリアンの歓迎をうけ、ホテルまでバスで移動です。

ホテルはグランドハイアットサンディエゴという40階のツインタワーのホテルでした。バスから降り、中に入ろうとすると、すでに、1週間前から、滞在されている日本からRI理事夫妻、研修リーダーご夫妻、および田中作次前RI会長ご夫妻の歓迎をうけ、緊張気味のエレクトたちも少し安堵したようすです。日本からのエレクトとその配偶者はあらかじめ用意してあった部屋に移動し、研修リーダーから丁寧な説明を受け、それぞれの部屋に入りました。毎年、到着の翌日から研修が始まるようですが、今回は着いたその日に歓迎晩餐会がひらかれました。ゲイリー C. K. ホアンRI会長の歓迎の挨拶があり、食事が始まりました。長い食事が終了し、これからがRI会長エレクトテーマの発表です。各ガバナーエレクト一人ひとりにラビンドラン会長エレクトから歓迎のメッセージが渡され、スクリーンには大きく「Be a Gift to the World」が映し出されました。正式な日本語訳は「世界へのプレゼントになろう」そして本日集まっておられるガバナーエレクトを「World Class」と命名されました。



ラビンドラン次期RI会長は「スリランカ コロンボRC」に所属しておられ、今回のテーマに関して、「私たちの人生の価値は、どれほど得たかではなく、どれほど与えたかによって判断されるのです。ですから苦しんでいる人に目を背

くのではなく、その苦しみを和らげてあげましょう。同情の言葉をかけるのではなく、実際に何かをしてあげましょう。社会から享受するだけでなく、社会に貢献しましょう。2015年度の私たちのテーマは「世界へのプレゼントになろう」です」と発表されました。そして、「最後に私たちに与えられた時間は今です。この機会を二度と訪れるものではありません」と締めくくられました。

翌日19日（月）からの5日間は毎日、8：30から本会議、ワークショップ等が始まり、17：30に終わります。水曜日以外は18:30から夕食を兼ねた会合です。ホテルの部屋に入るのは21：30でこれからシャワーを浴び、床につきます。

少々、ハードなスケジュールでしたが、21日水曜日の午後から自由時間が与えられ、今回参加したエレクト夫妻ほぼ全員で日本人が経営しているお寿司屋さんに行きました。久しぶりのお寿司と日本のビール、お酒を堪能しまして、ホテルに帰った時には参加者全員が日本にいるときの顔になっていました。最終日、最終本会議では最後にクリフ・ドクターマン元RI会長の「オーケストラの指揮者のように」と題した講演は実際に音楽を流しながら、指揮棒を振り、ガバナーとして心得を講演されたのには大変印象的でした。また、閉会晩餐会の最後で韓国からイアン・H. S ライズリーと日本の小沢和彦元RI理事から2016年のソウルで開催される国際大会へのお誘いがあり、小沢元RI理事から、日本からは大挙して大会に参加する旨の説明があり、今回の研修全日程が終了しました。全行程を通じて、ハードスケジュールでしたが、世界の各地区から集まり、一同に会して開催されたことは言葉の壁はありましたが、有意義な会であったと思いました。ご支援頂いた2710地区のロータリアンの皆さまに深く感謝申し上げます。詳細につきしてPETS、地区協等でご報告する予定です。ありがとうございました。



グループ3 IM報告書

2014-15年度 国際ロータリー第2710地区 グループ3 ガバナー補佐 **渋谷 正**

去る2月1日（日）にグループ3のインターシティ・ミーティングを行いました。奉仕とサーヴィスの違いをみんなで研修しました。開会行事で来賓及び参加クラブの紹介、そしてガバナーにご挨拶をしていただきました。

第一部は記念講演として「ロータリーの心と原点、特に職業奉仕について」との演題で、RI2700地区パストガバナーの廣畑富雄様（福岡西RC）に1時間20分にわたり、お話をいただきました。ロータリーの創始者でありますポールハリス氏がウォーリングフォードで育ち、シカゴで弁護士を開業し、とても淋しい思いをしたことから1905年に最初のロータリーが結成されますが、友情は大事にされたそうです。だから、ロータリーの基本に友情があるそうです。



次に寛容の精神があります。宗教的にも政治的にも寛容で紛争や戦争がなく平和に暮らせることがロータリーの願いです。そして今ひとつは、職業分類です。およそ役に立たない職業はなく、職業を通じて地域社会や人々の為になる職業奉仕こそロータリーの使命です。奉仕という言葉よりサーヴィスは、概念が広く、人の為になる行為全体を指しています。高いモラルをもち、より良き社会を造ると、本人の幸に通じますヴォケーションナルサーヴィスはビジネスの成功に不可欠との事です。

第二部は、各クラブの活動報告を入会3年未満の会員に発表していただきました。各クラブとも、しっかりと活動報告をいただきました。

参加人員も181人、懇親会も楽しいものとなりました。



第2710地区 グループ4 インターシティーミーティング報告

2014-15年度 国際ロータリー第2710地区 グループ4 ガバナー補佐 **西本 聡士**

国際ロータリー第2710地区グループ4のインターシティーミーティングを2015年2月7日土曜日に、ホストクラブ 光ロータリークラブの例会場であるホテル松原屋に於いて、徳山、徳山東、周南西、徳山セントラル、光の5クラブ、会員210名の登録のもと、金子克也ガバナー、岡田幹矢パストガバナー、神田忠二郎次年度グループ4ガバナー補佐、2014-15受入れ米山記念奨学生 李周妍さんをご来賓に迎え開催いたしました。



本年度のRI会長でありますゲイリー・ホアンさんのテーマでありますLIGHT UP ROTARY「ROTARY DAY」金子ガバナー信条であります「奉仕を学びROTARYを楽しもう」のもと、基調講演はかなりこじつけにはなりましたが、萩博物館 高杉晋作資料室長 一坂太郎氏を講師に招き、今年大河ドラマ「花燃ゆ」で脚光を浴びています「吉田松陰とその家族」の演題で、主人公吉田文の生涯を職業奉仕について絡め、ご講演を頂きました。時代の背景、杉家・吉田家の家系、それぞれの性格・人間関係等を紹介され、松陰の功績としてその後の日本の独立が守られたこと、最後に映画「男はつらいよ」

の主人公「寅さん」との類似性を、松陰の性格・環境との共通点から紹介されるユニークな講演になりました。

次に本会議に入り、本年度ガバナー信条にそった各クラブの奉仕活動を10分間という時間制限でご紹介していただきました。各クラブともRI会長テーマ、ガバナー信条にそった「ROTARY DAY」等の実施報告、職業奉仕に対する考え方等の活動が紹介され情報交換を通じて有意義な時間を持つことができました。

懇親会は光クラブの「ホスピタリティ」おもてなしの心で懇親会を盛り上げ会員同士の親睦を諮りました。お見せしたベリーダンスは世界でもっとも古い踊りといわれているもので、アラブ全域で踊られる女性による即興のソロダンスとして有名です。腹部や腰をくねらせて踊るため、Belly（腹部）Dance（ダンス）と呼ばれています。



IMの目的はグループ内の各クラブが寄り添い共通のテーマで語り合い、知己の和を広めるものですが、その目的が十分に考慮できた会合だったと自己満足し、報告に代えます。グループ内数多くの会員の方のご参加ありがとうございました。



日韓親善インターアクト歓迎式報告

2014-15年度 国際ロータリー第2710地区 インターアクト委員長 藤井 好夫

本年度も韓国第3690地区より、郭 泳緑 次年度IA委員長様を団長とし6名のロータリアン、1名の顧問教師と33名のインターアクターが来日されました。1月23日～25日の日程で、山陰を経由して広島へ来られました。



韓国第3690地区と私達第2710地区 交流の歴史は、1983年に友好締結し、日韓交流事業の1つとして、IAが相互にホームステイを行い、異国の地でのお互いの文化・歴史を知る事が大切な体験であると思う事で継続しています。

本年は24日に、ホテルグランヴィア広島にて、鈴峯女子高等学校 IAC をホスト校、広島西RC (森信 秀樹 会長) をホストスポンサークラブとして歓迎式を行いました。第2710地区からは、金子 克也 ガバナー、金子 信 青少年奉仕カウンセラー、岡田 健 前年度IA委員長をはじめ青少年奉仕など地区委員3名、提唱RC ロータリアン9名、そしてホスト校 (鈴峯女子高等学校) 西村 正美 校長先生をはじめ顧問教師6名、インターアクター 37名、韓国第3690地区からは郭 泳緑 次年度IA委員長他42名、このほかホストファミリー通訳等 総勢100名を超える盛大な歓迎式ができました。



歓迎式が14時に終わりますと、学生たちはそれぞれのホームステイ先のインターアクターと保護者と共に、受け入れ先に分かれて出発しました。受入校は、呉高専・修道高校・県立広島商校・鈴峯女子校・清水ヶ丘校山陽女学園・及び武田中高校です。ホストファミリーは、竹原市忠海東町・呉市・東広島市・廿日市市及び広島市にて受け入れて頂きました。彼らにとっては、楽しい一夜の始まりで、たった一晚ですが若い彼らには素晴らしい時間が出来るようです。

次の日の集合場所 (広島駅北口バス停留場) では、

インターアクターや保護者も一緒になって別れを惜しむ姿が多くありました。写真を撮り、ハグをし、涙を流しながら…なかなかバスに乗ってもらえません。出発し信号でバスが止まると皆がそこに又集まり、手を振り、別れを惜しみます。長くて短い時間です。毎年同じ光景ですが、良かったと感動を致します。この事業に携わって味わえる一コマです。何より韓国のインターアクターを無事に韓国側引率者に引き渡すことができ、安心しました。

昨年10月の第2710地区の地区大会に第3690地区のIA委員の皆様が多く参加され、そこで面識ができたことが、今回の韓国側の窓口との連絡等に生かされました。また、ホスト校 (鈴峯女子高等学校) の西村校長先生のリーダーシップにより、ホームステイのペアリングも早く出来上がり、準備段階からスムーズに終わることができました。先に述べましたように多くの関係者の皆様 (ロータリアン、関係校及びホストファミリー) のご協力の賜物と、心より感謝申し上げます。

これから、第2710地区のインターアクター達が夢を持って又再会を楽しみに、3月の韓国研修旅行に向けて参加をしてくれると考えます。これからの国際社会を担う若者、とりわけインターアクターという最も多感な時期に、異国の地でホームステイを体験し、異国の歴史・文化を知る事は貴重な体験であり、人格を大きく成長させる事と期待しています。希望者全員を研修旅行に参加させて上げたいのですが、地区の事業としては予算という縛りがあるため、なかなかそうはいきません。しかし、参加者を通じて次世代へ引き継がれることを望みます。その為には地区の皆様、提唱クラブの皆様、今後ともIA事業にご理解とご協力をお願い申し上げます。



2014-15年度 第1回東日本復興支援委員会報告

福山西RC 北村 富喜子

開催日時 2014年11月21日 (金) 15:00 ~ 16:00
開催場所 国際ロータリー第2710地区 事務局会議室
出席委員 金子克也 田村邦夫 北村富喜子
山崎和之 朝日奈正信
欠席委員 田村泰三 近本肥干 小倉國雄
議事録作成 朝日奈正信

2014-15年度当東日本復興支援委員会が組織されましたが、近本委員長が病氣療養中であつた為、本日まで委員会の開催が出来なかった。当日は前年度までの経験により近本委員長に変わって田村邦夫委員が議長となり議事の進行を行った。

金子克也ガバナーの挨拶から始まり、田村議長により今日までの第2710地区支援活動の経過、並びに義援金収支について詳細に報告された。次に防府北RCから提出された地区復興補助金申請について、及び「絆チャリティライブ」についての説明があつた。

上記の内容についての報告、審議された後以下の事項について議決がなされた。

- 1、ロータリー希望の風奨学金に100万円の支援を行う。
 - 2、防府北RCから申請があつた、プロジェクト名：元氣リターン高校生交流事業「もう一度自分の目と足で」に補助金90万円を支援する。但し予定終了期間が2016年4月5日となっている為、実際の支出については年度を跨ぎ2015-16年度に引き継ぐものとする。
 - 3、ガバナー月信3月号に東日本復興支援に関わる記事を掲載する。
- その原稿作成については、北村委員が担当する。

標記委員会で福山西RCが被災地支援活動に取り組んだ内容についてご紹介させていただきましたので、

その概要について以下に報告させていただきます。

2011-12年度の東日本被災地復興支援プログラムの一環として、2011年11月第1回目のクラブ独自の被災地支援訪問のスタートとなりました。津波で流された米崎小・中学校が同居する仮設の校舎を訪問し、ビーズブレスの贈呈に合わせて、クラブ会員事業所からの教材購入資金の贈呈。

第2回目の訪問は、伝統的な竹文化の興隆発展に取り組まれておられた陸前高田市竹文化振興協会が存続危ぶまれていたことから、その協会の再生復活を願い支援金を贈りました。その後、大槌町の仮設小学校4校に屋外テント1張と全児童1年間分の学習ノートを贈呈しました。その贈呈式には、盛岡北RCの田口ご夫妻、伊藤教育長及び大槌RC会員参加のもとに盛大に執り行いました。

第3回目は平田会長テーマの「笑顔の花を咲かせよう」に確実に継承され、我がクラブのささやかながらも支援の輪が広がり、陸前高田市の気仙小学校への支援をしました。児童数は99名でほとんどの家族が被災し仮設住宅で生活をしており、この小学校の児童全員に夏用、冬用の運動着を贈りました。

次は第4回目となる竹中会長年度の支援は陸前高田市立図書館に児童図書及び一般図書の贈呈を致しました。

以上、今日までの支援訪問という貴重な体験を通じて多くのことを学ぶことが出来ました。

忘れることなく、更なる支援活動を全国民が一体となって取り組むことを熱望致します。今日までの私たちのささやかな支援が大きな輪となり、被災地への復興が粘り強く歩み続けられることを切に願い、ロータリアンは黙して功を語らずと言われておりますが、この度の東日本復興支援委員会の報告とさせていただきます。



2014-15 ROTARY INTERNATIONAL District 2710 GOVERNOR'S MONTHLY LETTER



国際ロータリー第2710地区 2017-18年度ガバナー予定者決定のお知らせ

2015年1月13日、当地区ガバナー指名委員会は、国際ロータリー細則第13条13.020により2017-18年度ガバナー候補者として藤中 秀幸氏(岩国中央RC会員)を推薦し、その旨細則第13条13.020.6により地区内会員に公表致しました。その後、2週間の期限までに対抗候補者の推薦がございませんでしたので、細則第13条13.020.10により藤中 秀幸氏を国際ロータリー第2710地区2017-18年度ガバナー予定者^(注)として決定致しましたことをご通知申し上げます。

注)2013年規定審議会の決定に伴い、現時点では「ガバナーノミニーデジグネート」という呼称となり、2015年7月1日より「ガバナーノミニー」となります。



2017-18年度ガバナー予定者 略歴

藤中 秀幸 (ふじなか ひでゆき)

所 属 ク ラ ブ	岩国中央ロータリークラブ	
生 年 月 日	1950年 2月 8日	
職 業 分 類	税理士	
学 歴	法政大学法学部卒業	
職 歴	1973年 11月 公認会計士 森久雄事務所 入所	
	1978年 3月 藤中秀幸税理士事務所 開業	
主 公 職	1992年 3月－2011年 3月	島根大学医学部学術振興財団 監事
	2000年 10月－2006年 3月	周東町 監査委員
	2009年 6月～	岩国西商工会 副会長
	2013年 8月～	「小さな親切」運動 岩国支部長
ロータリー歴	1992年 7月 15日	岩国中央ロータリークラブ入会
	2009-10年度	岩国中央ロータリークラブ会長
	2010-11年度	第2710地区グループ5 ガバナー補佐
	ベネファクター、マルチプル・ボール・ハリス・フェロー、米山功労者	



公益財団法人 ロータリー米山記念奨学会

ハイライトよねやま

178号
(2015年 1月13日 発行)

今月のトピックス

- ・寄付金速報 ―2015年もよろしく願います―
- ・タイ米山学友会の奉仕活動 ―児童養護施設を訪問―
- ・第2代よねやま親善大使を大募集!
- ・今年の年賀状は現役奨学生がデザイン
- ・台湾米山学友会総会が開催されました

今月のピックアップ記事

第2代よねやま親善大使を大募集!

「よねやま親善大使」は、日本全国のロータリー地区・クラブからの要請に応じて、地区大会・セミナー・例会などに参加し、元米山奨学生を代表してロータリアンへ米山記念奨学事業の意義と感謝を伝えたり、自身の活躍を紹介する活動をしています。

このたび、“第2代”よねやま親善大使として、事業のPRをお手伝いして下さる方を大募集します!

対象となるのは日本国内在住の米山学友で、任期は2015年7月からの2年間。

応募締切は2月15日(当会必着)です。

詳しくは、当会ホームページ <http://www.rotary-yoneyama.or.jp/> をご覧ください。

お世話いただいた学友にふさわしい方がいれば、ぜひご推薦をお願いいたします!(学友ご本人からの応募が必要です)

そのほかの記事は、ぜひPDF版をご覧ください。 http://www.rotary-yoneyama.or.jp/summary/pdf/highlight178_pdf.pdf

国際ロータリー第2710地区 2014-15年度 74RCの会員増減・出席率 2015年1月度

グループ	クラブ名	例会数	出席率(%)		会員数					
			当月	平均	年度初 (7/1)	当 月		本 年 度		
						末日	内女性	入会者	退会者	増減
グループ1	長 門	4	95.26	90.23	29	29	4	0	0	0
	下 関	3	80.43	80.13	47	47	2	2	2	0
	下関中央	3	86.11	88.62	28	28	4	0	0	0
	下 関 東	4	83.97	84.21	47	56	0	9	0	9
	下 関 北	4	90.8	91.65	41	42	0	3	2	1
	下 関 西	4	77.7	83.65	35	37	1	3	1	2
	油 谷 湾	4	97.22	96.73	11	9	0	1	3	-2
	計		87.36	87.89	238	248	11	18	8	10
グループ2	萩	4	98.57	96.5	52	55	0	4	1	3
	萩 東	4	100	99.87	21	20	0	2	3	-1
	美 祢	3	77.78	77.13	23	23	0	2	2	0
	小 野 田	4	87.42	84.78	41	41	3	1	1	0
	宇 部	4	92.64	90.66	49	49	2	2	2	0
	宇 部 東	3	69.44	69.01	14	14	2	0	0	0
	宇 部 西	4	94.07	92.6	49	52	1	3	0	3
	計		88.56	87.22	249	254	8	14	9	5
グループ3	防 府	4	85.67	86.69	50	55	0	5	0	5
	防 府 北	2	70.18	88.22	19	19	2	0	0	0
	防 府 南	4	77.03	85.98	36	37	9	1	0	1
	山 口	4	93.21	94.07	55	58	4	4	1	3
	山口県央	4	91.36	92.18	36	38	1	2	0	2
	山 口 南	3	93.9	88.64	39	39	5	1	1	0
	計		85.23	89.3	235	246	21	13	2	11
グループ4	光	2	90.48	93.82	45	46	0	1	0	1
	周 南 西	4	93.36	95.62	46	49	5	3	0	3
	徳 山	3	91.73	93.87	50	52	1	5	3	2
	徳山セントラル	3	89.66	91.54	28	29	1	1	0	1
	徳 山 東	4	98.02	97.14	52	51	0	2	3	-1
	計		92.65	94.4	221	227	7	12	6	6
グループ5	岩 国	4	78.48	79.89	61	65	0	4	0	4
	岩国中央	3	89.16	88.4	38	40	3	3	1	2
	岩 国 西	4	88.52	86.22	55	53	4	1	3	-2
	柳 井	4	100	100	34	34	2	0	0	0
	柳 井 西	4	95.82	97.4	28	27	2	0	1	-1
	計		90.4	90.38	216	219	11	8	5	3
グループ6	広 島	4	98.94	99.52	114	123	0	13	4	9
	広島安芸	4	97.35	98.2	39	38	2	0	1	-1
	広島安佐	4	94.05	92.91	19	21	1	2	0	2
	広島 東	4	99.2	99.28	89	98	4	9	0	9
	広島 北	4	100	99.96	81	85	0	6	2	4
	広島陵北	4	98.58	98.67	55	55	3	1	1	0
	大 竹	4	91.96	89.99	31	31	0	1	1	0
	計		97.15	96.93	428	451	10	32	9	23

グループ	クラブ名	例会数	出席率(%)		会員数					
			当月	平均	年度初 (7/1)	当 月		本 年 度		
						末日	内女性	入会者	退会者	増減
グループ7	広島中央	3	100	99.87	72	75	8	3	0	3
	広島廿日市	3	79.28	86.32	37	38	1	1	0	1
	広島城南	4	97.5	98.41	57	60	3	3	0	3
	広 島 南	4	99.4	99.7	88	93	0	6	1	5
	広島東南	3	100	100	86	91	11	7	2	5
	広島西南	4	100	100	62	62	4	1	1	0
	広 島 西	4	100	100	75	77	0	3	1	2
	計		96.6	97.76	477	496	27	24	5	19
グループ8	江 田 島	4	94.12	94.41	19	18	0	0	1	-1
	東 広 島	4	94.22	98.21	31	30	2	1	2	-1
	東広島21	2	93.75	81.39	18	16	3	0	2	-2
	呉	4	89.27	90.85	68	73	1	7	2	5
	呉 東	3	94.33	95.82	28	31	0	3	0	3
	呉 南	4	92.62	90.67	56	55	3	1	2	-1
	西 条	4	100	100	39	39	2	2	2	0
	計		94.04	93.05	259	262	11	14	11	3
グループ9	広島空港	3	87.3	86.92	22	22	3	0	0	0
	因 島	4	84.78	86.06	26	24	1	0	2	-2
	三 原	4	89.06	92.5	64	64	1	2	2	0
	尾 道	4	84.67	84.46	71	75	3	5	1	4
	尾 道 東	3	89.58	87.94	51	51	0	0	0	0
	瀬 戸 田	4	85.7	85.7	7	7	0	0	0	0
	竹 原	4	89.19	87.58	36	37	4	1	0	1
	計		87.18	87.31	277	280	12	8	5	3
グループ10	府 中	3	90.67	84.88	32	32	0	1	1	0
	福 山	3	94.73	95.45	83	82	0	4	5	-1
	福 山 東	3	87.07	92.84	50	49	3	1	2	-1
	福山丸之内	3	92.71	96	33	33	1	0	0	0
	鞆 の 浦	3	82.61	84.3	23	24	0	1	0	1
	福山REC2710	3	89.75	95.01	26	26	4	0	0	0
	計		89.59	91.41	247	246	8	7	8	-1
グループ11	福山赤坂	3	77.11	76.43	43	41	4	3	5	-2
	福 山 北	4	92.71	88.79	48	49	0	1	0	1
	福 山 南	4	87.39	84.68	60	61	2	3	2	1
	福 山 西	4	96.6	95.23	44	44	3	1	1	0
	松 永	3	87.76	89.62	49	49	2	0	0	0
	計		88.31	86.95	244	244	11	8	8	0
グループ12	吉 舎	4	97.06	98.53	17	17	0	0	0	0
	三 次	4	83	82.33	39	39	0	1	1	0
	三次中央	2	91.97	92.58	44	44	5	1	1	0
	庄 原	4	85.59	88.5	33	34	4	1	0	1
	東 城	4	90.48	93.79	19	21	1	2	0	2
	計		89.62	91.15	152	155	10	5	2	3
第2710地区計			90.31	90.96	3243	3328	147	163	78	85

新入会員紹介



藤田 薫
下関東RC
2015年1月15日
海洋土木



藤田 勝也
下関北RC
2015年12月2日
第2地方銀行



福田 稔
下関北RC
2015年1月6日
飲食 小売業



荒川 光雄
萩RC
2015年1月8日
電気保安管理業



原田 憲一
萩RC
2015年1月15日
大学学長



中原 斎香利
小野田RC
2015年1月7日
歯科医



田辺 憲治
宇部RC
2015年1月15日
旅行斡旋



渡部 宏一
宇部西RC
2015年1月6日
自動車整備



曾根 洋介
宇部西RC
2015年1月6日
空調設備工事



白石 民彦
防府RC
2015年1月6日
呉服



阿比留 真二
山口南RC
2015年2月6日
旅行斡旋



藤井 葉月
岩国西RC
2015年1月9日
衛生清掃業



三宅 朗充
広島中央RC
2015年2月2日
生命保険



鹿瀬 賢二
広島東南RC
2015年1月19日
電子機器製造



高橋 潔
広島東南RC
2015年1月26日
輸入車販売



小松 節子
西条RC
2015年1月29日
機器製造販売



瀬川 貴夫
福山赤坂RC
2015年1月6日
司法書士



鳥越 聖寿
福山南RC
2015年1月8日
新聞発行



笹田 博之
福山西RC
2015年1月10日
水産物卸売



新入会員氏名
所属RC
入会日
職業分類

謹んで追悼の意を表します



福山RC
故 仁科 浩殿
2015年1月15日ご逝去(享年61歳)

■ロータリー歴
ポール・ハリス・フェロー
■職業分類
調味料製造

文庫 通信

329号

「ロータリー文庫」は日本ロータリー 50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万4千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

■職業奉仕について

アーサー・フレデリック・シェルドンの生涯とその学説の特質についてー純粋理論の立場から	小堀 憲助	2009	54p	(純粋ロータリー理論からみたロータリーの経営哲学)
職業奉仕を考える	田中 作次	2014	3p	(D.2770月信)
職業奉仕は日本が元祖 土屋元作	塚原 房樹	2014	1p	(D.2510月信)
『職業奉仕』知る (to know) と成る (to be)	塚原 房樹	2014	1p	(D.2510月信)
職業奉仕月間によせて	池田 徳博	2014	1p	(D.2800月信)
てんびんの詩	久野 薫	2014	1p	(D.2680月信)
ロータリーの目的	久野 薫	2014	1p	(D.2680月信)
職業奉仕とは	深川 純一	2014	20p	尾道・尾道東RC
[上記申込先: ロータリー文庫]				
超入門 職業奉仕の入口	村井総一郎	2014	36p	

[申込先: 早川和男 FAX (052) 783-3818]

ロータリー文庫 〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3階
TEL: (03) 3433-6456 FAX: (03) 3459-7506 http://www.rotary-bunko.gr.jp 開館: 午前10時~午後5時 休館: 土・日・祝祭日

お詫びと 訂正

ガバナー月信vol.8(2月号) P2「ガバナーメッセージ」に以下の通り誤りがございましたので、訂正してお詫び申し上げます。
右段上から8行目 (誤) thinkfulness and helpfulness ⇒ (正) thoughtfulness and helpfulness

国際ロータリー 第2710地区 事務局

〒732-0822 広島市南区松原町1-5 ホテルグランヴィア広島6F
TEL: 082-506-0055 FAX: 082-263-2323 E-mail: info@ri2710.com URL: http://ri2710.com/